

受賞報告 援護活動の功績をたたえる 秋田県援護事業功労者に対する知事表彰

秋田県援護事業功労者に対する知事表彰を受賞した細田隆志さん(83歳・米内沢横町)が、6月25日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

細田さんは、平成元年から戦傷病者、戦没者遺族の援護事業に携わり、約30年間活動を行っています。

この度の受賞は、長年にわたる援護活動に関する功績が特に顕著であると認められたものです。

津谷市長は「戦争の悲惨さと平和のありがたさを伝え続けるため、これからも頑張ってほしい」などと援護活動の実績と受賞をたたえました。



植樹活動 地域住民と湖畔の環境を守る 森吉山ダム四季美湖「桜植樹活動」

森吉山ダム四季美湖「桜植樹活動」が、6月21日に様田地区で行われ、秋田北鷹高校緑地環境科の生徒など約40人が参加し、エゾヤマザクラなど250本の苗木を植樹しました。

この事業は、緑化推進ボランティアグリーン・メイク(本城谷多加志代表)が主催し、県が実施している「森づくり県民提案事業」の採択を受けて行っているもので、今回が5回目の植樹活動となります。

参加者は、いつの日か花が咲き、多くの人たちが訪れて喜んでもらえる日が来ることを願いました。



観賞会 りりしい秋田犬25頭が集合 第42回秋田県北支部秋田犬観賞会

公益社団法人秋田犬保存会秋田県北支部(富樫孝支部長)主催の第42回秋田県北支部秋田犬観賞会が、7月1日に大館能代空港内の芝地で行われ、県内外から25頭の秋田犬が出場しました。

観賞会は順位を決める展覧会とは異なり、飼育状態の確認や飼育に関する改善点を学んだり、会員同士の情報交換や交流を目的に開催されています。

この日は、保存会本部の審査員が、1頭ごとに毛色や立ち姿等をていねいにチェックし、参加者に今後に向けた飼育に関するアドバイスをしていました。



お披露目 新たな地域の魅力発信拠点へ 「音楽と笑顔の駅」米内沢駅お披露目会

NPO法人ハッピーデリバリー(佐藤信子理事長)主催の米内沢駅お披露目会が、6月21日に秋田内陸線・米内沢駅で行われ、リニューアルされた駅舎内の完成を、地域住民や関係者らと祝いました。

今回は、市民提案型まちづくり事業を活用し、地域活性化や新たな観光拠点となるように「浜辺の歌音楽館」のPRコーナーを設置したほか「笑う岩偶」のレプリカを米内沢駅の観光駅長に任命しました。

お披露目会では、米内沢小児童80人が駅舎前で浜辺の歌を合唱し、駅舎のリニューアルを祝いました。



消防訓練 訓練の成果を披露 平成30年度北秋田市消防訓練大会

北秋田市消防訓練大会が、7月8日に市民健康広場で開かれ、市内13分団のうち6分団から186人の団員が規律訓練やポンプ車操法、小型ポンプ操法で日頃の訓練の成果を競い合いました。

開会式では、津谷市長が「日頃からの皆さんの活動に心から感謝し、この訓練大会が意義のあるものになることを期待している」などと激励しました。

この日は、各部門に選抜された2隊が参加し、審査員や他分団の団員が見守る中、きびきびとした動作で手順をこなし、訓練の成果を披露しました。



若者定着 地元企業の魅力に触れる 中学生向け企業博覧会

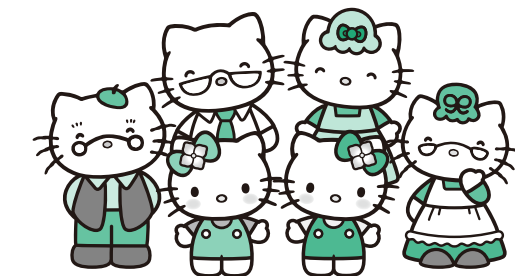
北秋田地域振興局主催の中学生向け企業博覧会が、7月2日に市民ふれあいプラザで行われ、市内5中学校と上小阿仁中学校の生徒約270人が地元企業の魅力や取り組みについて学びました。

中学生向け企業博覧会は、次の時代を担う子どもたちに、今後の進路選択の幅を広げ、地元企業のよさを伝えることで、ふるさとの企業で頑張ろうとする気概を育てることなどを目的に行われています。

参加した生徒は、興味津々に聞いたり、積極的に質問し、地元企業について理解を深めていました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



地域行事 五穀豊穡を願い大きな音を響かせる 八幡宮綴子神社例大祭

八幡宮綴子神社(武内尊英宮司)の例大祭が、7月14日と15日に同地区で行われ、古式ゆかしい大名行列が地区内を練り歩き、大太鼓をはじめ、獅子踊りや奴踊りなどを奉納し、虫追いや雨乞いで五穀豊穡を祈願しました。

今年の例大祭は、上町が当番町。本祭りの15日は、約60人の大名行列が、3張りの大太鼓を先導し、地区の北側から綴子神社までを練り歩きました。

境内では、躍動感あふれる獅子踊りや奴踊りなどが披露され、見物客から大きな拍手が送られました。

